

岐阜県家庭教育学級実践事例

体験活動参加型+講演会型(小学校)

学校名	海津市立今尾小学校
実施日	令和8年1月23日(金)
会場	家庭科室
参加人数	6年児童と保護者 64名
学習課題(分野)	思春期の肌トラブル、親子でハンドマッサージ(家族の大切さ)
運営者の願い	<p>高学年になり、ニキビなどの肌トラブルを起こしやすくなる。「ニキビは何故できるのか?」「ニキビができる前からできる予防法はないか?」などを親子で学んでいただきたい。</p> <p>親子でクレンジングや洗顔の仕方を学ぶことで、自宅でも一緒に取り組んでもらいたい。</p> <p>ハンドマッサージは、普段お母さんお父さんの手を触る機会も少なくなっているため、親子でふれあいの時間を過ごしていただきたい。</p>

学習の内容

<ニキビについて>

*思春期ニキビについて、講師の先生にお話を聞いた。

- ・ なぜニキビはできるのか?
- ・ ケアの方法

*クレンジングの必要性、洗顔の大切さを聞き、実際にクレンジング、洗顔の仕方を学んだ。

- ・ 保護者の手の甲にクレンジングを出し、お子様と一緒にクレンジングをオイル化するまで肌に馴染ませる。
- ・ 親子で1つ泡立て器を準備し、どれくらいの泡立ちがよいか一緒に確認しながら洗顔料を泡立てる。

<ハンドマッサージについて>

*講師の先生に準備していただいたハンドクリームを使用して、児童から保護者へハンドマッサージを行った。

*普段から使用しているハンドクリームを使用したい方には、あらかじめ持参していただいた。

*ハンドマッサージの方法を講師の先生から聞き、実際に行った。

*講師の先生から「日頃の感謝の気持ちを込めて、ありがとうという気持ちでマッサージしましょう」との声かけもあり、素敵なふれあいの時間となった。



<保護者の感想>

- ・ まさに今、ニキビに悩んでいるときなので、子どもも興味をもって親子で勉強できてよかったです。ハンドマッサージも久しぶりにスキンシップを取れて、楽しい時間になりました。ありがとうございました。
- ・ 母の言うことはなかなか聞かないので、洗顔の大切さを教えて頂き、少しはちゃんと洗顔してくれるようになるかな~と感謝です。
- ・ 子どもと一緒に洗顔について話をゆっくりしたことが無かったのでとても為になりました。



取組内容の工夫

小学校高学年で出てくる悩みの1つを、親子で一緒に学んでいた。



活動内容の工夫

ハンドマッサージを通して、親子のふれあいの時間を持っていただくことができた。